聖愛 初の甲子園

東奥日報
〒030-0180
青森市第二問屋町３丁目１番89号
東　奥　日　報　社
(C)東奥日報社 2013

インターネット号外

ご購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局
０１２０－４６－５９３９（ヨム コウドクサンキュー）
２４時間受付

弘高を４－３ 弘前対決制す

初の甲子園出場を決め、マウンドに集まって喜ぶ聖愛ナイン＝23日、青森市営球場

第95回全国高校野球選手権青森大会は最終日の23日、青森市営球場で決勝を行い、聖愛が弘前を４－３で破り初優勝。創部13年目で、春夏を通じて初の甲子園出場を決めた。弘前勢の夏の甲子園出場は、１９９６年の弘前実以来17年ぶり。

29年ぶりの弘前勢同士の決勝。聖愛は初回に先制を許したが、その裏すぐに同点に追い付いた。二回には、１死二、三塁で佐々木の適時打で２点をリードした。

同点で迎えた七回裏、この回先頭の宇庭がバントヒットで出塁し、二盗に成功。一戸が四球を選んで無死一、二塁とした後、４番成田が送りバントを決め１死二、三塁とチャンスを拡大。２死となった後、森山が右前適時打を放ち勝ち越した。

弘前は初回に幸先よく１点を先制。三回にも２点を挙げ同点に追い付いたが、その後は相手の主戦小野に抑えられた。

▽決勝

弘前	1	0	2	0	0	0	0	0	0									
聖愛	1	2	0	0	0	0	1	0	X									
	4																	3

（弘）平川―大竹
（聖）一戸、小野―和島

詳細は朝刊で

Copyright(C) The To-o Nippo Press Co.,Ltd.　http://www.toonippo.co.jp/